

檜垣造船株式会社（愛媛県今治市）

優秀な人材の採用とやりがいを感じる環境づくり

意欲が高い 女性たちの 活躍の場を広げる



設計技術者の安藤睦美さんは産休・育休をあわせて約1年取得し、職場復帰した。現在は子どものために休みを取りやすい環境の中で、仕事も任されてやりがいを感じている。

会社の姿勢

優秀で意欲の高い女性たちに期待

設計・オペレーターシステムの導入や設備改善によって、女性が活躍しやすい時代になったと考えている。CADの導入で女性が設計に取り組みやすくなったようで、設計技術者としての女性の採用が増え、現在は36名の設計部員のうち9名が女性。設計以外でも、生産管理や工程管理、オペレーターの仕事など、女性の活躍の場は十分にある。女性たちの意欲の高さと優秀さも感じており、将来的には女性管理職の誕生も期待される。

現在は溶接、塗装など現場で活躍している女性はいないが、新しい工場では、換気機能の向上や段差の解消によって安全で快適な作業環境を整えた。今後は、工場でも積極的に女性を受け入れていきたい。



設計部には女性技術者5人と、設計事務の女性社員も在籍。女性の数が増えてきたことで、男性社会という雰囲気は薄れてきている。

社内環境

産休・育休を経てやりがいのある仕事に従事

檜垣造船では、産休・育休を利用して、出産後も仕事を続ける女性が増えている。子育て中の女性を中途採用することもあり、家庭と仕事を両立している女性社員は少なくない。そんな女性たちも大いに利用しているのが、時間有休。子どもの突然の病気で病院に連れて行ったり学校行事に参加したり、使い勝手がいいために多くの人が活用している。

現在、設計部では産休・育休の取得経験がある女性も活躍中。今回の制度利用も、周囲の理解でスムーズな休暇取得ができた。復帰後4年が経過し、仕事にやりがいを感じているという。仕事は男女平等であり、社員のライフイベントである出産・育児に対する配慮もきちんとなされている。会社としても働き続けてもらうことが理想であり、家庭の事情で退職した人も、同社で身につけたスキルを持っているので、復帰は歓迎したいとの考えである。



安藤 睦美さん
「自分が設計しているのは、部分的なところですがそれが合わさって巨大な船ができる。我が子が大きくなったら、自分が建造に関わった実物の船を見せてあげたいです。」

取り組んでいる会社の概要

檜垣造船株式会社

代表者：檜垣 宏彰（代表取締役・）

所在地：愛媛県今治市小浦町1丁目4番25号

資本金：4,800万円

事業内容：各種鋼船の建造

従業員数：100名

（平成29年10月時点）